喜びを感じて

令和８年１０月１５日



戸外でパラバルーンをやっていると、他クラスの子や保育者が興味を持ち見ていることに気づいた子ども達。初めは恥ずかしさが強く「見られるのやだなぁ」「やりたくない」という子も見られました。繰り返し行っていく中で、技が決まると拍手をしてもらったり終わった後に「凄かったね！」「面白かった」「上手だね」と声を掛けてもらったりしたことで、子ども達の気持ちに少しずつ変化が見られるようになり「拍手してもらえて嬉しかった」「もっと見てもらいたい」という気持ちが強くなっていきました。

子ども達が「みんなに見てもらいたい」「見てもらえるからもっとやりたい」「拍手してもらえると嬉しいからもっとやりたい」など、見てもらえる事の嬉しさや表現することの楽しさへとつながったパラバルーン。

そんな子ども達と共に喜びを感じながら、運動会当日もその先も楽しんでいきたいなと思います。